

湘南障害者就業・生活支援センター／湘南地域就労援助センター

令和 3 年度 事業報告

●令和3年度事業方針と事業内容

障害者からの求職・定着支援相談に応じ支援を行う。生活面や就労準備性に関する相談に対して、福祉サービス・相談支援・行政へつなげる支援を行う。事業主に対して障害者の雇用管理に関する助言等を行い、障害者雇用の拡大と安定を図る。

- 就労相談にとどまらない生活面や就労準備に関するニーズが増えていることから、福祉サービスや相談支援・行政へつなげる支援を行い、関係機関との更なる連携強化を目指す。
- ピアサポート活動の展開とともに定着支援における先輩就労者からのアドバイスの場を作り、また求職者支援として就労意欲の向上の機会を設ける。
- 地域の支援機関との事例検討会を引き続き主催し、連携強化と地域全体の支援力向上の取り組みを行う。
- 増加する登録者に対して、支援の方法や頻度について検討し、オンライン支援などを拡充する。
- 確実な状況把握とそれぞれの就労段階に合わせた支援を行うため、研修参加や所内研修によって各職員のスキルとノウハウを高める。

(1)相談・支援の実施

年齢、障害内容、相談が就労以外の内容になるなど幅広く多様になっており、電話や来所での相談のみが96件、登録が126件となった。登録後すぐに就労することが難しいと見られる登録者について、福祉サービスへ繋げる支援を153件行った。就労希望者の就労支援において職場体験実習提案の機会が少なく、計画的・効果的な求職支援実施に課題が見られた。

定着支援においては、職場訪問以外に登録者・企業との電話やメール、オンラインでの相談対応を積極的に実施し、支援充実を心掛けた。福祉機関、相談支援機関、生活支援機関、生活困窮支援機関、医療機関、教育機関、行政機関等と情報共有しながら支援を進めた。

【実績】

① 新規相談者数（件）

	求職相談	定着相談
身体	14	1
知的	19	11
精神	73	8
その他	94	2
小計	200	22
合計	222	

② 新規登録者数（名）

求職登録者	定着登録者
76	28

③ 新規就労者数

65名

・前年度就労者の1年経過後定着率 89.4%

④ 延べ相談支援件数(来所、電話、訪問、同行等)

8,433件

⑤ 職場実習等実施状況

9件

⑥ 事業主に対する支援

・支援対象事業所数 304事業所

・職場訪問件数 580件

・のべ相談支援件数(電話等) 2,073件

⑦ 年度未登録者数

1,038名

(2)職場定着促進のための在職者の交流活動の実施

在職中の登録者を対象に、安定した職業生活が維持できるよう、講師を招いた勉強会や交流の機会を設け、職場定着を促進した。

・第1回「オンライン勉強会～スマホ・ケータイの安全教室」

5月14日動画配信 視聴回数：116回 対象：就労者全員

・第2回「湘南びあくらぶ（オンライン座談会）」

7月31日実施 開催方法：オンライン 参加者：4名

・第3回「オンライン勉強会～障害年金について～」

8月24日動画配信 視聴回数：45回 対象：就労者全員

・第4回「オンライン勉強会～グループホームでの就労生活～就労者編～」

令和4年1月31日動画配信 視聴回数：56回 対象：就労者全員

・第5回「アンガーマネジメントについて学ぼう」【集合】

令和4年2月9日開催 参加者：9名

講師：発達障害者支援センター職員

・第6回「防災力を高めよう～防災カルタから学ぶ～」【集合】

令和4年3月11日開催 参加者：2名

(3)就業支援担当者の研修等

地域で開催される障害者支援に係る研修に出席し、支援力向上に努めた。

①障がい者就労支援機関向け研修会（医療連携研修会）（9月27日、オンライン視聴、1名参加）

②明日からの就労支援に役立つ「技能体得講座(アサーションについて)」（12月22日、1名参加）

③相談支援・就業支援セミナー（11月26日、12月1日、オンライン視聴、1名参加）

④就労支援フォーラム NIPPON2021（12月17日、18日、19日、オンライン視聴、1名参加）

(4)経験交流会議等の出席

- ①労働局主催の都道府県連絡会議に出席し、同一県内の各センターとの意見交換や事例検討を行い、センター間の連携を強化、支援力の質の向上を図った。
 - ・第1回都道府県センター連絡会議（11月1日、神奈川労働局）に主任就業支援担当者が出席
 - ・第2回都道府県センター連絡会議（令和4年3月28日、オンライン開催）に就業支援担当が出席
- ②障害者就業・生活支援センターブロック別経験交流会議に出席した。
 - ・南関東ブロック経験交流会議配信にてオンライン参加(11月26日)

(5)関係機関との連絡会議の開催

- ①労働局、ハローワーク、職業センター、就労移行支援事業所、相談支援事業所、医療機関、教育機関及び県や圏域内市町の当該部署を交えた連絡会議を実施し、各機関との連携を図った。
 - ・「障害者就労支援に関する連絡会」として、労働局、ハローワーク、市町村、就労移行支援事業所等との連絡会を開催した。2月14日オンライン（ZOOM）（参加機関：18事業所）
- ②圏域内の就労支援ノウハウの底上げや、就労支援員同士のネットワーク強化を目的に、就労移行支援事業所や就労継続支援事業B型等の福祉機関・行政・ハローワーク・相談支援事業所・医療機関等の主に就労支援に携わる職員を招き、障害福祉サービス事業所等で就労支援に携わる現場職員同士の横の連携を活かした支援体制構築を目指した事例検討会を開催した。
 - ・第1回 6月10日オンライン（ZOOM）（参加機関：18機関32名）
 - ・第2回 9月29日オンライン（ZOOM）（参加機関：15機関23名）
 - ・第3回 令和4年2月24日オンライン（ZOOM）（参加機関：14機関22名）
- ③圏域在住の障害児が通う特別支援学校の進路担当教諭を招き、安定した就業生活を送る為の定着支援を実施すべく、卒業生の情報交換や就労後の支援体制について検討する会議を開催し、連携を図った。
 - ・「障害者就労支援に関する連絡会」として圏域在住の障害のある生徒が通う特別支援学校・インクルーシブ教育実践推進校と、安定した就業生活を送る為の定着支援や内定者の情報交換や就労後の支援体制についての意見交換を12月15日オンラインにて行った。（参加機関：10校13名）

(6)ピアサポート活動

求職者に対して、就労している当事者から、就労に向けて当事者目線でのアドバイスや意見交換を通じた就職活動のサポートを行った。

- ①センターに新たに登録となる求職者を対象に障害者雇用で働く当事者からメッセージを送った。
 - 参加者 102名（参加者内訳：身体障害4名、知的障害15名、精神障害70名、その他13名）
- ②就労フェスティバルとして、湘南東部地区精神障がい者就労推進協議会(SEJA)と連携し、管轄の障害福祉圏域に居住する精神障害及び発達障害がある求職者を対象とした就職セミナーを開催した。（動画配信、SEJAホームページ上に掲載）

(7)中小企業における障害者支援担当者に対する支援の実施

中小企業においては、障害者雇用に関するノウハウを有する人材が限定的であり、企業内で雇用管理上の相談等を共有することが難しいという現状が見られているため、日々の業務における悩みや疑問を相談・解消できる場を提供するとともに、企業の垣根を越えて日常的に相談し合えるネットワークの構築を図ることを目指し、藤沢市と協働して中小企業交流会を開催した。就労している当事者や障害者雇用を熱心に取り組んでいる企業に取り組みについて講演してもらい、参加企業と障害者雇用についてのグループワークを行った。

・10月19日（参加企業：12社13名）